



国立映画アーカイブ[2階]

長瀬記念ホール OZU

定員=310名(各回入替制・全席自由席)

ライブ解説・弁士・伴奏付は299名

前売券

11月12日(日)10時より、チケットぴあにて全上映回の前売券(全席自由席・各150席分)を販売します。

[Pコード:550-604]

前売料金:一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円

*ライブ解説・弁士・伴奏付上映の回の特別料金:

一般1,050円/高校・大学生・シニア840円/小・中学生600円/国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズ400円(学生)、500円(教職員)

・別途発券手数料がかかります。

・各回の開映後の入場はできません。

・学生、シニア(65歳以上)、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方は入場時に証明できるものをご提示下さい。

・チケット購入方法や手数料については、6頁をご覧ください。

当日券(発券=2階受付)

料金:一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

*ライブ解説・弁士・伴奏付上映の回の特別料金:

一般1,050円/高校・大学生・シニア840円/小・中学生600円/障害者(付添者は原則1名まで)は無料/国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズ400円(学生)、500円(教職員)

◆当日券で入場される方には、開館と同時に、当日上映される全ての回の入場整理券を1階ロビーにて発券します。各日の開館時間については6頁のスケジュール欄をご覧ください。

・各回の開映後の入場はできません。

・当日券の発券は、定員に達し次第締切ります。

・学生、シニア(65歳以上)、障害者、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。

・当日券の発券は各回1名につき1枚のみです。

入場方法

①前売券をお持ちの方は、開場時(開映30分前)に、前売券に記載された整理番号順にご入場いただけます。

②その後は、当日券の整理券をお持ちの方が、整理番号順にご入場いただけます。前売券をお持ちの方は、随時ご入場いただけます。

●前売券・当日券は当日・当該回のみ有効です。


 長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。

オリンピック 記録映画特集

—より速く、より高く、より強く

**Documentary Films of the Olympic Games:
Faster, Higher, Stronger**

2019年

11月26日(日) — 12月22日(日)

11-12月の休館日▶▶▶月曜日、12月28日(土) - 2020年1月3日(金)

主催:国立映画アーカイブ

特別協力:オリンピック文化遺産財団

協力:日本オリンピック委員会

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

 TOKYO 2020
 応援プログラム

 国立映画アーカイブ
 National Film Archive of Japan

長瀬記念ホール OZU

上映作品

オリンピック 記録映画特集

—より速く、より高く、より強く

Documentary Films of the Olympic Games:
Faster, Higher, Stronger

オリンピック・パラリンピック東京大会の開催が、来年に迫ってきました。4年ごとに世界の注目を浴びるこのスポーツの祭典ですが、その姿が初めて映画のフィルムに取まったのは、金栗四三ら日本の代表団が初参加した1912年のストックホルム大会でのことです。1930年には国際オリンピック委員会(IOC)が各大会の記録映画作りを義務づけると、以降は大会ごとに公式映画が作られ、また非公式にも優れたドキュメンタリー作品が生まれました。

オリンピック記録映画は、各競技の歴史や名アスリートたちの活躍を見る楽しみに満ちているだけではありません。それと同時に、レニ・リーフェンシュター、市川崑、クロード・ルルーシュ、篠田正浩、イム・グオンテク、カルロス・サウラといった世界的な監督たちの活躍の場にもなり、映画芸術にとっても挑戦の機会となってきました。

この企画では、IOC傘下のオリンピック文化遺産財団(スイス・ローザンヌ市)から上映素材の提供を受け、歴代の記録映画の中から厳選された、1912年ストックホルム大会から1998年長野冬季大会までの23作品(22プログラム)を一挙に上映します。その大半は、IOCの映画復元プロジェクトによりデジタル復元されたものです。また1964年東京夏季大会をめぐって製作された短篇記録映画4作品も併せて上映します。さらに、復元プロジェクトの専門家を招いた特別講演会を行うほか、初期の大会を記録した無声映画には、スポーツ史の専門家によるライブ解説や、音楽・弁士付きの上映も予定しています。

この特集に足しげく通えば、きっとあなたもオリンピック博士になれるでしょう。映画ファンの方々はもちろん、スポーツ愛好家の皆さまのご来場をお待ち申し上げます。

- 監=監督 脚=脚本 撮=撮影 美=美術 音=音楽 出=出演 解=解説・ナレーション
- 作品に登場するアスリートは青字で示しています。
- 特集には不完全なプリントや状態の悪いプリントが含まれていることがあります。
- ★ライブ解説付上映 ● 弁士・伴奏付上映 ♪ 音楽伴奏付上映

言語字幕情報の表記例

言語: 英語、字幕: 日本語 → 英日
Language: English, Subtitles: Japanese → ①EN②JA

略記一覧

日本語(日)、英語(英)、フランス語(仏)、ドイツ語(独)、オランダ語(蘭)、イタリア語(伊)、韓国語(韓)、スペイン語(西)、ロシア語(露)

Japanese(JA), English(EN), French(FR), German(GE), Dutch(DU), Italian(IT), Korean(KO), Spanish(SP), Russian(RU)

1 12/1(日)3:00pm★ 12/11(水)6:00pm●

1912年 第5回オリンピック
ストックホルム(スウェーデン)大会
1912年第5回オリンピック
ストックホルム大会(170分・DCP・無声・白黒)

英日 ①EN②JA
The Games of the V Olympiad Stockholm, 1912
初めて網羅的に撮影されたオリンピック。本作は、その映像を復元し、4章建ての作品として再構成した映画。競技場落成式など開会前の情景もふんだんに含まれているほか、観客や市街など競技以外の光景も目を楽しませる。また当時は実施競技だった綱引きの様子も見ることができる。三島弥彦(短距離走)、金栗四三(マラソン)など、日本人選手の姿も鮮明に捉えられている。途中10分の休憩をはさみます。



photo: © 1912 / Comité International Olympique(CIO)
その他、登場する主なアスリート: ケン・マッカーサー、クリスチャン・ギッシュャム、フランシスコ・ラザロ(マラソン)、デューク・カハナモク(男子100自由形)、ジム・ソープ(五種競技、十種競技)、ハンネス・コーレマイン(5000走、10000走、クロスカントリー個人)
1912(スウェーデン=アメリカンスカ・フィルムコンパニエン・ストックホルム) 製作ジークムント・ポバート(復元・再構成) イドリアン・ウッド

2 12/8(日)4:00pm♪ 12/12(木)7:00pm♪

1928年 第2回冬季オリンピック
サン・モリッツ(スイス)大会
銀界征服(124分・DCP・無声・白黒)

独 ①GE ②FR (Partially GE only) ③JA
Das Weiße Stadion
日本が初参加した冬季大会。山岳映画で知られるA・ファンクが自然描写に力量を発揮。スローモーションの使用、エキストラを演出したシーンの挿入などにより劇的に展開。傑作「オリンピア」二部作への道を開いた。その監督リーフェンシュターはファンクの愛弟子で、エキストラとして2シーン登場している。編集はヴァルター・ルットマン。日本では当初「雪の競技」の題名で公開が告知され、『銀界征服』に改題して1929年3月公開。

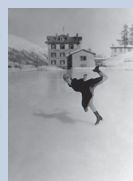


photo: © 1928 / Comité International Olympique(CIO)
ソニア・ヘニー(フィギュア女子シングル)、ギリス・グラフストローム、カール・シェーファー(フィギュア男子シングル)、アンドレ・ジョリユ&ピエール・ブリュネ(フィギュアペア)、イヴァール・バラングルート、クラス・ツンベルグ(スピードスケート)
1928(オリンピア・フィルム) ④アーノルト・ファンク、オトマー・グルトナー ⑤ハンス・シュネーベルガー、ゼップ・アルガイアー、アルベルト・ベニツ、リヒャルト・アングスト

3 12/3(火)6:00pm★ 12/14(土)3:00pm●

1928年 第9回夏季オリンピック
アムステルダム(オランダ)大会
アムステルダム・オリンピック大会

(192分・DCP・無声・白黒)
蘭 ①DU ②JA
De Olympische Spelen - Amsterdam 1928
織田幹雄が三段跳びでアジア人初の金メダル。今大会より加わった女子陸上競技で、人見絹枝が800メートル走の銀メダルを獲得。メイン会場にある塔には期間中火がともされ続け、これが聖火台の始まりとなる。また、このメイン会場を設計したヤン・ヴィルスは、当時オリンピックの正式種目であった芸術競技の建築部門で金メダルを獲得している。20世紀初頭を代表する長距離ランナーのパーヴォ・ヌルミ(男子3000障害、5000走、10000走)の姿も捉えられている。途中10分の休憩をはさみます。



photo: © 1928 / Comité International Olympique(CIO)
ジュニー・ワイズミュラー(男子100自由形)、リナ・ラトケ(女子800走)、鶴田義行(男子200平泳ぎ)、山田兼松、津田晴一郎、プエラ・エル・ワフィ(マラソン)、パーシー・ウィリアムズ(男子100走、200走)
1928(ルーチェエウーファ) ⑥ヴィルヘルム・ブラーガー

4 11/27(水)3:00pm 12/13(金)7:00pm

1936年 第4回冬季オリンピック
ガルミッシュ=パルテンキルヒェン(ドイツ)大会
世界の若者たち(38分・DCP・白黒)

独 ①GE ②JA ③EN
Jugend der Welt
夏季ベルリン大会と並ぶもうひとつの「ナチ・オリンピック」だが、貧困者の悲劇をリアリズムで描いた『これが人生』(1930)で知られる監督のユンハンスは、プロパガンダよりも、冬季競技のスピード感とスリルの表現に賭けた。選手宣誓を行うホルディック複合選手のヴィリー・ボグナーは、『白い恋人たち』の撮影監督であるヴィリー・ボグナーの父。



photo: © 1936 / Comité International Olympique(CIO) / RÜBEL, Lothar
ソニア・ヘニー、稲田悦子(フィギュア女子シングル)、カール・シェーファー(フィギュア男子シングル)、イヴァール・バラングルート(スピードスケート)、ビルゲル・ルート(スキージャンプ)
1936(帝国映画院) ④カール・ユンハンス、ヘルベルト・フリーガー ⑤エアトル、アルガイアー、フォン・ヤヴォルスキ、シュルツェ、ノイベルト、フンツ、テッシュ、ヴェンク ⑥ヴァルター・グロムスタイ

1936年 第11回夏季オリンピック
ベルリン(ドイツ)大会

1936年オリンピック映画の製作風景
(34分・DCP・白黒)

英 ①FR ②EN (Partially FR only) ③JA
Autour des travaux effectués pour le film des Jeux Olympiques 1936 / Behind the Scenes of the Film about the Olympic Games 1936
「オリンピア」公開に先立って公開された短篇。男女二人組が登場し、それぞれがフランス語・英語でナレーションを行う。映像の断片を次々に見せる編集がスリリングで、がぜん本編への期待感をあおり、撮影・編集現場の様子が非常に興味深い。監督は「オリンピア」のテクニカルアドバイザーでもある。
1937(オリンピア・フィルム) ④ルードルフ・シャート ⑤ヴァルター・グロムスタイ

5 11/26(水)3:00pm 12/21(土)1:00pm

1936年 第11回夏季オリンピック
ベルリン(ドイツ)大会

民族の祭典(126分・DCP・白黒)

独 ①GE ②JA ③EN
Olympia - Fest der Völker
後世に多大な影響を与えた映像への賞賛と、芸術と政治をめぐる問題の提起で今日なお評価の揺れる最も有名なオリンピック映画のひとつ。『美の祭典』と併せて「オリンピア」二部作として完成された。古代ギリシア精神の継承をイメージ化した長いプロローグに始まる本作は、開会式と、十種競技以外の陸上競技種目を中心に構成されている。二部作でヴェネツィア国際映画祭作品賞を受賞し、日本では1940年に公開された。撮影はハンス・エアトルほか50名近く関わっている。



photo: © 1936 / Comité International Olympique(CIO)
ジェニー・オーウェンス(男子100走、走幅跳び、4x100リレー)、孫基禎、アーネスト・ハーバー、南昇竜(マラソン)、田島直人、原田正夫、大島謙吉(三段跳び)、西田修平、大江季雄(棒高跳び)、イルマリ・サルミネン、村社謙平(10000走)、吉岡隆徳、鈴木蘭多(男子100走)、ラルフ・メトカフ(男子100走、4x100リレー)、ルツ・ロング(走幅跳び)
1938(オリンピア・フィルム) ④レニ・リーフェンシュター ⑤ヘルベルト・ヴィント



銀界征服 © 1928 / Comité International Olympique(CIO)

6 11/26(火)7:00pm 12/21(土)4:00pm

1936年 第11回夏季オリンピック
ベルリン(ドイツ)大会

美の祭典(103分・DCP・白黒)

◎独◎日・英 ①GE◎JA・EN

Olympia - Fest der Schönheit

本作では選手たちの肉体的美しさや、競技と編集の生み出すリズム感の表現に重点が置かれている。『民族の祭典』ともども、充分な撮影のできなかった競技では再現映像や練習時の撮影素材を使うなど、大会記録としての真正さよりも、リーフェンシュタールの理想とする作品の完成度が優先された。日本では公開に際して、前畑秀子が制した女子200メートル平泳ぎ決勝のニュース映像が挿入された。撮影はハンス・エアトルほか50名近くが関わっている。1940年日本公開。

photo: © 1936 / Comité International Olympique(CIO)

西竹一、稲波弘次(馬術)、グレン・モリス(十種競技)、葉室鐵夫、小池禮三、伊藤三郎(男子200平泳ぎ)、佐佐正憲、新井茂雄、田口正治(男子100自由形)

1938(オリンピック・フィルム)◎レニ・リーフェンシュタール
◎ヘルベルト・ヴァント



7 11/27(水)7:00pm 12/12(木)3:00pm

1948年 第5回冬季オリンピック
サン・モリッツ(スイス)大会

憎しみなき闘い(91分・DCP・白黒)

◎仏◎日・英 ①FR◎JA・EN

Combat sans haine

近代オリンピックの誕生から説き起こされ、男性の声によるナレーションが進行していると、突然「妻」がわりこんできて、さらには「妻」にちよっかいを出す別の男も登場。かくして競技映像と並行し、音声上では別のストーリーも展開される。脚本は1930年代から50年代までのフランス映画を支えたシャルル・スパーク。12年ぶりに開催されたオリンピックで、日本とドイツは招待されていない。

photo: © 1948 / itm.n#_373644

アンリ・オレイエ(男子アルペン)、ディック・バトン(フィギュア男子シングル)、バーバラ・アン・スコット(フィギュア女子シングル)、ビルゲル・ルート(スキージャンプ)

1948(チュリコップ)◎アンドレ・ミシェル◎シャルル・スパーク◎R・アングスト、W・リムル、O・ランチュナー、T・フォン・ヘアマン、W・レテリ、F・ドゥラランド、R・メジャ、G・ポー、A・ヴァルム、C・ビュドリ、T・ブラウン、H・ヤヴォルスキー、P・ランペール◎ボリス・メルソン



8 11/28(木)3:00pm 12/17(火)6:30pm

1948年 第5回冬季オリンピック
サン・モリッツ(スイス)大会(冒頭の40分ほど)

1948年 第14回夏季オリンピック
ロンドン(英国)大会

ロンドン・オリンピック

(138分・DCP・カラー)

◎英◎日 ①EN◎JA

The Glory of Sport

1948年の冬季と夏季大会の記録。オリンピック記録映画初のカラー作品で、テクニカラーの美しい色彩で描かれた色とりどりの国旗や、風光明媚なカヌー競技会場の様子も目を楽ませる。ナレーターはサム・ウッド監督『打撃王』(1942)にも登場した有名アナウンサー、ビル・スターン。音楽の演奏はロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団。ロンドン大会も日本とドイツは招待されていない。1949年日本公開。

photo: © 1948 / Comité International Olympique(CIO)

登場する主なアスリート(夏季大会のみ): ファニー・プランカース・クン(女子100走、80ハードル、200走、4x100リレー)、エミール・ザトベック(5000走)、ヴィクトリア・マナロ・ドレイヴス(女子板飛び込み、高飛び込み)、サミー・リー(男子高飛び込み)、テルフォ・カブレラ、エディエンヌ・ガイ、トム・リチャーズ(マラソン)、アーサー・ウィント(男子400走)、ポップ・マサイアス(十種競技)

1948(オリンピック・ゲームズ(1948)・フィルム)◎製作キャット・ストン・ナイト◎スタンリー・セイヤー、H・プリントン、E・キャンディ、P・キャン、L・ケイヴ・チン、P・エリス、M・フォード、A・グレアム、K・ヒギンズ、D・ヒル、A・イバートソン、J・モス、E・ステュアート、F・ウィンデン、N・ウォリック、J・ホワイトヘッド◎ガイ・ウォラック◎ビル・スターン



9 11/28(木)7:00pm 12/11(水)2:00pm

1956年 第16回夏季オリンピック
メルボルン(オーストラリア)大会

美と力の祭典 メルボルン・オリンピック
の記録(106分・DCP・カラー)

◎仏◎日・英 ①FR◎JA・EN

Rendez-vous à Melbourne

肉体と運動の美の表現は「オリンピック」で極められた感があり、その後のオリンピック記録映画は別の方向を模索し始める。本作はその転換点に位置する。選手たちのリラックスした表情は、ローマ大会以後しばらく顕著となる、選手の肉内描写への道を開くものであるだろう。軽やかなタッチが爽快で魅力的な一本。1957年日本公開。

photo: © 1956 / itm.n#_373644

アラン・ミムン(マラソン、10000走)、エミール・ザトベック、イ・チャンフン、川島義明(マラソン)、ウラジミール・クーツ(10000走、5000走)、ベティ・カスバート(女子100走、200走、4x100リレー)、ポビー・モロー(男子100走、200走、4x100リレー)

1957(プロダクションC.S.A.)◎ルネ・リュコ◎ユベール・ルネ・リュコ、レイモン・マルシリヤック◎J・デュアメル、P・ゲゲン、P・ルボン、G・ルクレルク、P・ルヴァン、G・マリア、R・マトラス、L・ミレイユ、J・L・ピカヴェ、D・タロ、A・ヴィギエ◎クリスチャン・シュヴァリエ、ギイ・ラフィット、アヴニール・ドゥ・モンフレ◎フランソワ・ペリエ、レイモン・マルシリヤック



10 11/29(金)3:00pm 12/8(日)11:30am

1960年 第17回夏季オリンピック
ローマ(イタリア)大会

ローマ・オリンピック1960

(147分・DCP・カラー)

◎伊◎日・英 ①IT◎JA・EN

La Grande Olimpiade

競技だけでなく歴史都市ローマの魅力も力強く表現し、アカデミー賞長篇ドキュメンタリー部門に初めてノミネートされたオリンピック記録映画。オーソン・ウェルズ監督作品なども手掛けた作曲家、A・F・ラヴァニーノの個性的な音楽も面白く、アベベ・ビキラ(マラソン)の走りの描写は、続く市川崑の『東京オリンピック』で頂点に達する、アスリートの肉内描写の先駆と言える。街にはなぜかピング・クロスビーがふらりと出現。短縮版が1961年日本公開された。

photo: © 1960 / Comité International Olympique(CIO) / MULLER, Horst

ウィルマ・ルドルフ(女子100走、200走、4x100リレー)、ドーン・フレイザー(女子100自由形)、レイファ・ジョンソン、楊伝広(十種競技)、ハープ・エリオット(1500走)、アルミン・ハリー(男子100走)、日本代表チーム(男子体操)

1961(インスティテュート・ナッチヨナル・ルーチェ)◎◎ロモロ・マルチエリ◎◎ニコロ・フェラーリ◎A・アレクサンドリ、F・アッテンニ、L・バルトリ、C・コロ、M・ダミチェリ、R・デル・フラテ、V・テッラ・ヴァッレ、A・フィリッピーニ、R・フィリッピーニ、M・フィオレティ、A・ジャンナレリ、L・クウェイレリ、E・ロミリ、A・ロッチ、M・マヌツァ、E・メンツァ、U・ヌティ、E・ビッチリリ、M・スカルベリ、A・セッキ、R・シニストリ、C・ヴェンティミリア、F・ズッコリ◎A・F・ラヴァニーノ、アルマンド・トロヴァジョーリ



白い恋人たち/グルノーブルの13日

© 1968 / itm.n#_373644

11 12/4(水)6:00pm 12/7(土)3:00pm 12/22(日)11:00am

1964年 第18回夏季オリンピック
東京(日本)大会

東京オリンピック(170分・DCP・カラー)

◎日◎英 ①JA◎EN

1940年の開催中止を乗り越えてアジアで初の開催となった東京大会の記録。アスリートたちの心の裡に追ろうとする姿勢と工夫、一場面に複数のカメラを動員する撮影態勢など、総監督市川崑ならではの創意が全篇を貫き、完成するや「芸術か記録か」の論争を巻き起こした画期的な作品。使用されたカメラは103台、撮影フィルムの長さは約40万フィート(約74時間)、携わったスタッフは総勢556名と伝えられる。カンヌ国際映画祭で国際批評家賞を受賞した。途中10分の休憩をはさみます。

ヴェラ・チャスラフスカ(女子体操)、遠藤幸雄、鶴見修治、小野喬、山下治広、早田卓次、ボリス・シャハリン(男子体操)、猪俣功、アントン・ヘーシング、神永昭夫(柔道)、日本代表チーム、ソ連代表チーム(女子バレーボール)、三宅義信(重量挙げ)、渡辺長武、吉田義勝、上武洋次郎(レスリング)、桜井孝雄、ジョー・フレージャー(ボクシング)、円谷幸吉(10000走、マラソン)、アベベ・ビキラ、ペイジル・ヒートリー、君原健二(マラソン)、ビリー・ミルズ、ラトゥング・カルナタンダ(10000走)、依田郁子(女子80ハードル)、ポップ・ヘイズ(男子100走)

1965(東京オリンピック映画協会)◎監督◎市川崑◎白坂依志夫、谷川俊太郎、和田夏十◎宮川一夫、林田重男、長野重一、中村謹司、田中正◎亀倉雄策◎黛敏太郎◎三國一郎



12 11/30(土)12:30pm 12/19(木)7:00pm

1968年 第10回冬季オリンピック
グルノーブル(フランス)大会

白い恋人たち/グルノーブルの13日

(112分・DCP・カラー)

◎仏◎日・英 ①FR◎JA・EN

13 jours en France

競技が後景に退くもの辞さず、オリンピック開催中のグルノーブルの街をまるごと描こうとした異色作。会期中に開かれていたイベントの出演者として、シルヴィ・ヴァルタン、ジュニー・アリデイらの姿が見られ、ベジャールのバレエ公演の様相も映る。監督のひとりレシヤンパックは、アメリカの風物を捉えた記録映画『アメリカの真窓』(1960)の監督。アルペン滑降のコースを滑走しながら撮影しているのは、60年冬季大会のアルペン競技にドイツ代表として出場し、のちに007映画などのスキーシーン演出も手掛けるウィリー・ボグナー。1969年日本公開。

photo: © 1968 / Comité International Olympique(CIO)

ジャンクロード・キリー(男子アルペン)、ペギー・フレミング(フィギュア女子シングル)

1968(レ・フィルム 13)◎クロード・ルルーシュ、フランソワ・レジャンバック◎ピエール・ユイッテルヘーヴェン◎ウィリー・ボグナー、ジャン・コロ、ギイ・ジル、ジャン・ポール・ジャンサン、ジャン・ピエール・ジャンサン、ピエール・ウイلمان◎フランス・レイ



13 12/1(日)10:30am 12/17(火)2:30pm

1968年 第19回夏季オリンピック
メキシコシティ(メキシコ)大会

太陽のオリンピックーメキシコ 1968—
(160分・DCP・カラー)

◎西◎日・英 ①SP◎JA・EN

Olimpiada en Mexico

最終聖火ランナーを初めて女性が務めた大会。ディック・フォスベリーによるオリンピック初の背面跳び、男子走り幅跳びポップ・ビーモンの驚異的世界記録、男子200メートル走表彰式など、オリンピック史に残る場面が多数記録されている。日本では1969年、市川崑編集監修の124分版が公開された。途中10分の休憩をはさみます。

photo: © 1968 / itm.n#_373644

ジェームズ・ハインズ(男子100走)、トミー・スミス、ジョン・カーロス、ピーター・ノーマン(男子200走)、アベベ・ビキラ、マモ・ウォルデ、君原健二、ジョン・スティーヴン・アクワリ(マラソン)、ヴェラ・チャスラフスカ(女子体操)、日本代表チーム(男子体操)

1969(OCOG)◎◎アルベルト・イサーク◎フェルナンド・マコテラ◎アントニオ・レイノ◎ホアキン・グティエレス・エラス◎エンリケ・リサル、ロベルト・モラレス



14 12/3(火)1:00pm 12/22(日)3:00pm

1972年 第11回冬季オリンピック
札幌(日本)大会

札幌オリンピック(167分・DCP・カラー)

◎日◎英 ◎JJA◎SJA

スピードスケーター鈴木恵一や、スキージャンプの笠谷幸生の談話を交え、「運動の美しさ、スポーツにおける不安と恍惚」(篠田謙)に迫る。詩的なナレーション、現場の音を積極的に拾う音響構成も面白い。アルペン選手カール・シュランツが、アマチュア規定に抵触したとして開会直前に除名された事件(のちに名誉回復)も記録。撮影部は鈴木達夫ら約90名。途中10分の休憩をはさみます。



アト・シエンク、エアハルト・ケラー(男子スピードスケート)、金野昭次、青地清二(スキージャンプ)、ジャネット・リン、トリクシー・シュバ(フィギュア女子シングル)、マリー・テレーズ・ナディッヒ(女子アルペン)、大高優子(リージュ女子1人乗り)

1972(社団法人ニュース映画製作連盟)総監督篠田正浩◎山田信夫、虫明亜呂無、小笠原基生、富岡多恵子◎佐藤勝◎高橋昌也、岸田今日子

15 12/4(水)3:00pm 12/14(土)11:00am

1972年 第20回夏季オリンピック
ミュンヘン(西ドイツ)大会

時よとまれ、君は美しい／
ミュンヘンの17日(110分・DCP・カラー)

◎英(一部独)◎日 ◎EN(Partially GE)◎SJA

Visions of Eight

8人の著名監督たちが各々の視点からオリンピックを捉えるオムニバス形式の映画。1973年日本公開。各パートの日本語タイトルは公開時のもの。



photo: © 1972 / Comité International Olympique(CIO)

始まりのとき The Beginning

開会式や、競技直前の緊張と集中の狭間にゆれる選手たちの姿を捉える。

◎ユーリー・オゼロフ◎テリアラ・オゼロフ◎イゴール・スラブネヴィッチ

最も強く The Strongest

重量挙げ、トレーニングに打ち込む選手たちの執念から、食事作りの現場まで描かれる。

◎マイ・セッティング◎デイヴィッド・ヒューズ◎ルネ・エリクソン

最も高く The Highest

棒高跳び。空中での選手の身体の動きや落下する際の表情の変化を、美的なスローモーションで捉える。

◎アーサー・ベン◎ウォルター・ラッサリー

美しき群像 The Women

かつては参加さえも許されていなかった女性選手に捧げられた一篇。体操のリュドミラ・ツリシチェワの演技とマンシーニの音楽が見事な調和を見せている。

◎ミハエル・フレガー ◎エルンスト・ヴィルト

最も速く The Fastest

男子100メートル走決勝をスローモーションで描く。

◎市川崑◎谷川俊太郎◎山口益夫、マイク・テイヴィス、アラン・ヒューム

二日間の苦闘 The Decathlon

十種競技。ベートーヴェンの第九やバイエルン地方の伝統音楽の演奏風景と、選手たちの過酷な闘いがクローズされ、さらに睡魔と闘うスタッフも加わり、スポーツのおかしみが表現されている。

◎ミロシュ・フォルマン◎ヨルゲン・ベルソン

敗者たち The Losers

ボクシング、柔道、自転車、馬術、男女競泳、女子やり投げ、レスリングの敗者たちを描く。

◎クロード・ルルーシュ◎ダニエル・ポクリー

最も長い闘い The Longest

マラソン、およびテロとその後の日々を捉える。

◎ジョン・シュレジンジャー ◎アーサー・ウスター ◎ブライアン・ホジソン

ボブ・シークレン、ヴォルフガング・ノルトヴィッヒ(棒高跳び)、ハイディ・ローゼンダー(女子走幅跳び)、ウルリケ・マイファルト(女子走高跳び)、ワレリー・ボルゾフ、ヘイズリー・クロフォード(男子100走)、ヨアヒム・キルスト、ニコライ・アヴィロフ、ブルース・ジェンナー(十種競技)、ロナルド・ヒル、フランク・ショーター(マラソン)

1973(ウォルバー・ピクチャーズ)◎タイトルシリーズ監修メル・スチュアート◎ハンリー・マンシーニ

16 11/29(金)7:00pm 12/15(日)1:00pm

1976年 第12回冬季オリンピック
インスブルック(オーストリア)大会

ホワイトロック(77分・DCP・カラー)

◎英◎日 ◎EN◎SJA

White Rock

俳優J・コバーンが案内役として登場し、ボブスレーやバイアスロンを体験しながら冬季競技の魅力を伝え、プログレバンド「イエス」のリック・ウェイクマンによる電子音楽が、流線型のウェアが本格化した大会にふさわしい未来的なタッチを付け加える。監督は『バーニング』(1981)のトニー・メイラム。フィギュア金メダリストバアの後に映る女性コーチは、のちに荒川静香や浅田真央も育てるタチアナ・タラソワ。1977年日本公開。



photo: © 1976 / Comité International Olympique(CIO)

カール・シュナーブル、アントン・インナウアー、ヨッヘン・ダンネベルク(ジャンプ90m級)、イリーナ・ロドニナ&アレクサンドル・ザイツェフ、タイ・パピロニア&ランディ・ガードナー(フィギュアペア)、フランク・クラマー、ベルンハルト・ルツィ、フリッツ・ルー、アントン・シュタイナー(男子滑降)、ロジ・ミッターマイヤー(女子回転)

1977(ワールドマーク・プロダクションズ=サミュエルソン・インターナショナル)◎トニー・メイラム◎アーサー・ウスター◎リック・ウェイクマン◎ジェイムズ・コバーン

17 12/10(水)7:00pm 12/18(土)3:00pm

1976年 第21回夏季オリンピック
モントリオール(カナダ)大会

第21回オリンピック大会
(118分・DCP・カラー)

◎仏◎日・英 ◎FR◎SJA・EN

Jeux de la XXIe Olympiade

女子体操のネリー・キム、男子100メートル走のシルビオ・レオナルド、十種競技のブルース・ジェンナー、ハンガリー近代五種チームをメインに展開。舞台裏も交えてアスリートの心身の苦闘を描く。キムがチームのエースへと躍進し、天才ナディア・コマネチと競う過程がスリリング。ニュージーランドドラッグビームの南ア遠征に抗議してアフリカ諸国がボイコットした大会でもあり、選手村入村後に帰国が決まった選手たちの声も聞かれる。



photo: © 1976 / AUJARD, Henry

リュドミラ・ツリシチェワ、オルガ・コルブト(女子体操)、ヘイズリー・クロフォード(男子100走)、ヴァルデマール・チェルピンスキー、フランク・ショーター、宗茂、宇佐美彰朗(マラソン)、テオフィロ・ステベンソン、ジョン・テート(ボクシング)

1977(カナダ国立映画制作所)総監督ジャン・クロード・ラブルク◎ジャン・ポータン、マルセル・カリエール◎ジョルジュ・デュフォー◎ジョルジュ・セルター◎ピエール・ミニョ、ピエール・ルタルト、アーネスト・マクナブ◎アンドレ・ガニョ、ヴィクター・ヴォーゲル◎イヴォン・ティプト、フランシヌ・ローランドー

18 12/5(木)2:30pm 12/20(金)6:30pm

1980年 第22回夏季オリンピック
モスクワ(ソヴィエト連邦)大会

スポーツよ、君は平和だ！
(149分・DCP・カラー)

◎露◎日・英 ◎RU◎SJA・EN

О спорт, ты - мир!

ソ連のアフガニスタン侵攻に反対する米国の呼びかけで、西側諸国の多くがボイコットした大会。独走戦を描いた大作『ヨーロッパの解放』(1970-71)で知られる監督ユーリー・オゼロフは、国家の威信をかけたこの大会のスケール感を伝える一方、古代オリンピックについて語るチャーミングなアニメーションを随時挿入することで、重量感を適度にやわらげようとしている。



photo: © 1980 / Comité International Olympique(CIO)

セバスチャン・コー(男子1500走)、ヴァルデマール・チェルピンスキー(マラソン)、サラ・シメオニ(女子走高跳び)、テオフィロ・ステベンソン(ボクシング)、アレクサンドル・ディチャーチン、ニコライ・アンドリアノフ(男子体操)、エレナ・ダヴィドワ、ナディア・コマネチ、マキシム・クナウク(女子体操) 1981(モフィルム)◎ユーリー・オゼロフ◎ボリス・ルイコフ、ニコライ・ドブロンラヴォフ◎ニコライ・オロノフスキー、レフ・マクシモフ◎エメーション・フォードル、ヒトルク◎アレクサンドラ・パフマトワ◎ニコライ・オゼロフ

19 12/5(木)6:30pm 12/13(金)3:00pm

1984年 第23回夏季オリンピック
ロサンゼルス(米国)大会

栄光の16日(145分・DCP・カラー)

◎英◎日 ◎EN◎SJA

16 Days of Glory

米国のグレナダ侵攻を理由として東側諸国がボイコット。スポーツドキュメンタリーを撮っていたグリーンスパンが、オリンピック映画を初めて手掛けた。その後、彼は多くのオリンピック映画を撮ることとなる。世界記録保持者だが負傷が完治せず、決勝で最下位に終わったデイヴィッド・ムーア(男子5000メートル走)など選手のインタビューを交えながら、競技への想いが描かれる。



photo: © 1984 / itm:n#_373644

山下泰裕(柔道)、エドウィン・モーゼス(男子400ハードル)、ジョー・モフェット(男子100平泳ぎ)、ロウティ・ゲインズ(男子100自由形)、デヴィッド・トンプソン、ユルゲン・ヒンクセン(十種競技)、ミハエル・グロス(男子200自由形、100バタ、200バタ、4x200リレー)、メアリー・ルー・レット、エカテリーナ・サボエ(女子体操)、グレート・ワイルド、ジョン・ベノイト、ロザ・モタ、ガブリエラ・アンデルセン(女子マラソン)、具志堅幸司(男子体操)

1986(キャッパリー・プロダクションズ)◎パド・グリーンスパン◎ロバート・E・コリンズ、ギル・ハブズ、マイケル・D・マーガリス、ロバート・プライムズ◎リリー・ホルドリッジ◎デイヴィッド・ペリー◎ラッド・ドミンゴ

20 12/6(金)7:00pm 12/10(水)3:00pm

1988年 第24回夏季オリンピック
ソウル(韓国)大会

ハンド・イン・ハンド(119分・35mm・カラー)

◎韓(一部英)◎日・英 ◎KO(Partially EN)◎SJA・EN

손에 손 잡으

監督は『風の丘を越えて/西便制』(1993)などで知られるイム・グオンテク。朝鮮戦争の記憶や過去2大会の大規模ボイコットの踏まえ、平和の大会であることを強調。男子100メートル走決勝のカール・ルイスとベン・ジョンソンの世紀の対決から、ドーピング問題や、ボクシングの判定問題などにも目を向ける。さらにオリンピックの芸術祭も記録されており、多様な視点に興味深い。



photo: © 1988 / Comité International Olympique(CIO) / SCHIAPPA

セルゲイ・ブプカ(棒高跳び)、フローレンス・グリフィス・ジョイナー(女子100走、200走)、中山竹通、瀬古利彦、ジュ・イカンガ、アーメド・サラ、ダグラス・ワケウリ、ジェリンド・ポルティン(男子マラソン)、ロザ・モタ(女子マラソン)、鈴木大地(男子100背泳ぎ)、ジャネット・エヴァンス(女子400自由形他)、マット・ピオンティ(男子50自由形他)、グレゴリー・ルガニス(男子飛び込み)、シュテフィ・グラフ、ガブリエラ・サバティエリ(女子テニス)、斉藤仁(柔道)

1989(国立映画製作所)◎イム・グオンテク◎キム・ヨンオク◎国立映画製作所、撮影分科委員会(現:韓国映画撮影監督協会)◎キム・ジョンギル◎キム・スンハン

21 12/6(金)3:00pm 12/15(日)4:00pm

1992年 第25回夏季オリンピック
バルセロナ(スペイン)大会

マラソン(130分・DCP・カラー)

◎西◎日・英 ◎SP◎SJA・EN

Marathon

監督は『カラスの飼育』(1975)などで知られるカルロス・サウラ。世界的なテノール歌手、ホセ・カレーラスが音楽監督を務めた開会式は、オリンピック史上屈指のスペクタクル。様々な競技の様子が描かれるが、全篇を貫くマラソンが、すべての競技を包み込み、あらゆるアスリートの苦闘を集約していく特異な構成になっている。



photo: © 1992 / Comité International Olympique(CIO)

ファン・ヨンジョ、森下広一、キム・ジェリオン、中山竹通、谷口浩美(男子マラソン)、ワレリヤナ・エゴロワ、有森裕子(女子マラソン)、カール・ルイス(男子4x100リレー、走幅跳び)、マイク・パウエル(男子走幅跳び)、リンフォード・クリスティ(男子100走)、ゲイル・ティヴァース(女子100走、100ハードル)、米国代表チーム(男子バスケットボール)、マイケル・ジョンソン(男子4x400リレー)、イヴリン・アッシュフォード(女子4x100リレー)

1993(アイバーグループ)◎カルロス・サウラ◎ハビエル・アギレサロベ、カルロス・カベセラ、ホセ・M・シビト、ミゲル・イカサ、アルフレド・マイヨ、ホセ・ルイス・ロペスリナレス◎アンハンドロ・マツッ

22 12/7(土)12:00pm 12/19(木)3:00pm

1998年 第18回冬季オリンピック
長野(日本)大会

1998長野オリンピック 名誉と栄光の物語 (119分・DCP・カラー)

英語 日本語

Nagano '98 Olympics: Stories of Honor and Glory

日本で2回目となる冬季オリンピック。ケガで出場も危ぶまれていたフィギュア女子シングルの陳露(ルー・チェン)の苦闘や、金メダルに輝いた日本スキージャンプチームの原田雅彦の想いなどが、インタビューも交えて描かれる。またボブスレー男子2人乗りで、同タイムで金メダルとなったイタリアとカナダチームもフィーチャーされている。



photo: © 1998 / Comité International Olympique(CIO) / MUNDAY, Stephen

ジャンプ・クレチエ、ブライアン・ステムル(男子滑降)、ミシェル・クワン、タラ・リビンスキー、スルヤ・ボナリー(フィギュア女子シングル)、ビョルン・ダーリ、トーマス・アルスゴール、シルヴィオ・ファウナー(クロスカントリースキー)、キルスティン・ホラム、グンダ・ニーマン(ジュニールネマン(女子スケート3000)、デボラ・コンパニョーニ(女子回転、大回転)、船木和喜(スキージャンプ)、里谷多英(女子モーグル)、清水宏保(男子スケート500)

1999(キャッピャー・プロダクションズ) 監修/バド・グリーンズバン 監製/ブルース・ベッファ 監製/金谷宏二、デイヴィッド・ゲールディング、ハーブ・コソヴァー、ビル・ミルズ、リック・ロバートソン 監演/リー・ホルドリッジ 監演/ウィル・ライマン



スポーツよ、君は平和だ! © 1980 / Comité International Olympique(CIO)

23 12/18(水)6:30pm 12/20(金)3:00pm

東京オリンピック短篇ドキュメンタリー選集(計112分)

日本語 日本語

1964年東京大会をめぐる、国内でも数多くの記録映画が製作された。国立映画アーカイブのコレクションの中から、一心に練習に励む選手たちに加え、大会をめぐる物流や当時の東京の風景までさまざまな場を捉えた短篇作品を紹介する。『ふたりの長距離ランナーの孤独』は、オリンピックのマラソンコースに乱入してきた一般人を野田真吉監督が偶然捉えた映像を繰り返してない実験映画である。

オリンピックを運ぶ(41分・16mm・カラー)

1964(輸送経済新聞社) 監修/野田真吉 監製/松本俊夫 監製/清水一彦、高田昭、因幡元光 監製/佐寿枝 監製/宮芳生 監製/高島陽

ふたりの長距離ランナーの孤独 (9分・16mm・白黒)

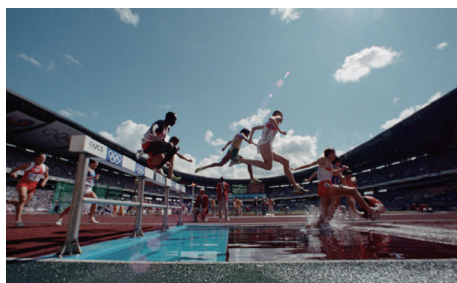
1966 監修/野田真吉 監製/因幡元光、大須賀武

闘魂の記録 オリンピック東京大会を目指して (35分・35mm・カラー)

1963(東京シネマ) 監修/西尾善介、山添哲哉 監製/伊勢長之助 監製/吉見泰憲 監製/入沢吉五郎、江連高元、角田忠信 監製/藤岡岡田実

オリンピックの街(27分・35mm・カラー)

1964 監修/荻野茂二



ハンド・イン・ハンド © 1988 / Comité International Olympique(CIO)/KUNTZ, Roland

ライブ解説出演者

松浪 稔(まつなみ・みのる) / 東海大学教授(体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科)

博士(体育科学)。日本体育大学大学院体育科学研究科博士後期課程単位取得退学。フィリピン国立レイトネ師範大学講師(青年海外協力隊)、福岡女子大学助教授等を経て現職。専門はスポーツ史、スポーツ人類学、スポーツ文化論。著書に『現代スポーツ批評』(2019年叢文社)、『身体近代化』(2010年叢文社)。



弁士・伴奏付上映出演者(出演順)

山城秀之(やましる・ひでゆき) / 活動写真弁士

山口県出身。10年の宮仕へののち退職。1997年新横浜ラーメン博物館で街頭紙芝居のイベントに出演。2009年、活動写真弁士のワークショップがきっかけで弁士の道を目指し、翌2011年晴れて澤登翠一門の新米弁士として無声映画鑑賞会でデビュー、現在地元厚木で紙芝居と活弁の会を開催中。



上屋安由美(かみや・あゆみ) / 作曲、ピアノ

愛知県名古屋出身。桐朋学園大学音楽学部作曲専攻卒業、同大学研究科修了。同大学音楽学部附属子供のための音楽教室でソルフェージュ講師。これまでボルデューネ無声映画祭、東京国際映画祭等に出演。ピアノを故・松岡晴子、三輪郁、作曲を三瀬和朗、大家百子の各氏に師事。



佐々木亜希子(ささき・あきこ) / 活動写真弁士

NHK山形放送局でニュースキャスターを務めた後、2001年より活動写真弁士として活躍。ウィットに富んだ台本と七色の声が人気を博し、全国各地の映画祭や上映会に出演。現在、毎月新宿の映画館で生演奏付きの活弁ライブを開催。活弁の技術を活かした音声ガイドにも取り組んでいる。



永田雅代(ながた・まさよ) / ピアノ、アレンジ、プロデュース

Jazz, Folk, Ireland trad, Fado, Hip-Hop, 演歌などの多種多様なジャンルのCD制作、プロデュース多数。2017年スペインLleidaでのFado Festivalに出演。また無声映画の伴奏をシリーズ化し、国立美術館、映画祭、劇場、学校公演などに出演、国内外の数多くの作品の音楽を手掛ける。



音楽伴奏付上映出演者

柳下美恵(やなした・みえ) / ピアノ

武蔵野音楽大学ピアノ専攻卒業。1995年、映画生誕百年祭(朝日新聞社主催)「光の生誕リュミエール」でデビュー。以来国内・海外の映画館、映画祭で活躍。欧米スタイル(音楽伴奏)の無声映画伴奏者は日本初。洋画・邦画を問わず全ジャンルを即興で伴奏する。2006年度日本映画ペンクラブ奨励賞受賞。



特別講演会のお知らせ

「オリンピック記録映画の歴史と映画復元プロジェクト」

日時:2019年11月30日(土)
2:30pm-5:30pm(終了時刻は予定)

講演者:エイドリアン・ウッド
(オリンピック記録映画復元担当者、映画復元専門家)

- * 逐次通訳付き
- * 入場無料

* 当日1回目の上映をご覧になった方は、そのまま講演会にも参加することができます。講演会への参加もできます。

【講演者紹介】

エイドリアン・ウッド(Adrian Wood)
オリンピック記録映画復元担当者、映画復元専門家

英国生まれ。1970年代半ばから、TVドキュメンタリー制作のためのフィルム調査に従事し、ビーボディ賞など数々の賞を受賞。1990年代半ばにIOC(国際オリンピック委員会)から依頼を受け、オリンピック記録映画の復元プロジェクトをIOCのロバール・ジャキエ氏とともに四半世紀にわたり牽引。モットーは「フィルムは失われたのではない、我々がまだ発掘していないだけだ」。現在、福岡在住。



photo: © 2015 / International Olympic Committee (IOC) / MEYLAN, Arnaud

展示室(7階)

【企画展】

映画雑誌の秘かな愉しみ

The Discreet Charm of Film Magazines

2019年9月7日(土)~12月1日(日)

* 月曜日は休館です。

主催:国立映画アーカイブ
協力:群馬県太田市立新田図書館

* 詳細は当該チラシまたは国立映画アーカイブのホームページをご覧ください。

トークイベントのご案内 映画雑誌小講座

11月16日(土)

「いま、映画雑誌とは」

対談: 田野辺尚人(「別冊映画秘宝」編集長) × 平嶋洋一(株式会社キネマ旬報DDエディター)

NFAJ Digital Gallery NFAJ デジタル展示室 Digital Gallery
下記ホームページからお入りください
<https://www.nfaj.go.jp/onlineservice/digital-gallery>

【企画展】12月13日(金)より

日本・ポーランド国交樹立100周年記念 ポーランドの映画ポスター

Polish Posters for Films / Polskie plakaty filmowe
100th Anniversary of Poland-Japan Diplomatic Relations

2019年12月13日(金)~2020年3月8日(日)

* 月曜日、2019年12月28日(土)~2020年1月3日(金)は休館です。

主催:国立映画アーカイブ、京都国立近代美術館
後援:駐日ポーランド共和国大使館、ポーランド広報文化センター

協力:アダム・ミツキエヴィチ・インスティテュート

* 詳細は当該チラシまたは国立映画アーカイブのホームページをご覧ください。

トークイベントのご案内

12月13日(金) 開会記念講演
ダグナ・キドン氏(ウッチ映画大学)

2020年3月7日(土) 展示品解説
岡田秀則(当館主任研究員)

* 時間・場所は決まり次第、HP・SNS等でお知らせいたします。

【常設展】企画展に併設

NFAJコレクションでみる 日本映画の歴史

Nihon Eiga: The History of Japanese Film
From the NFAJ Non-film Collection

[Captions in Japanese, English, Chinese and Korean]

開室時間 午前11時~午後6時30分(入室は午後6時まで)
* 毎月金曜日は午前11時~午後8時(入室は午後7時30分まで)
料金(常設展・関連企画共通) 一般250円(200円) / 大学生130円(60円) / シニア・高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

* ()内は20名以上の団体料金です。
* 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。
* 国立映画アーカイブの上映観覧券(鑑賞後の半券可)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。

常設展ギャラリートーク

原則として毎月第一土曜日12時より
(12月はお休みします)

オリンピック記録映画特集 —より速く、より高く、より強く

Documentary Films of the Olympic Games: Faster, Higher, Stronger

月	火	水	木	金	土	日
11月	25 5 11:00am開館 3:00pm 民族の祭典 (126分) [1936年ベルリン夏季大会1]	4 11:00am開館 3:00pm 世界の若者たち (38分) [1936年ガルミッシュ=バルテングルヒェン冬季大会] 1936年オリンピック映画の製作風景 (34分)	8 11:00am開館 3:00pm ロンドン・オリンピック (138分) [1948年サン・モリッツ冬季大会] [1948年ロンドン夏季大会]	10 11:00am開館 3:00pm ローマ・オリンピック1960 (147分) [1960年ローマ夏季大会]	12 11:00am開館 12:30pm 白い恋人たち／グルノーブルの13日 (112分) [1968年グルノーブル冬季大会]	13 9:30am開館 10:30am 太陽のオリンピアーメキシコ 1968— (160分) [1968年メキシコシティ夏季大会] *途中休憩あり
	26 6 7:00pm 103分 美の祭典 [1936年ベルリン夏季大会2]	27 7 7:00pm 91分 憎しみなき闘い [1948年サン・モリッツ冬季大会]	28 9 7:00pm 106分 美と力の祭典 メルボルン・オリンピックの記録 [1956年メルボルン夏季大会]	29 16 7:00pm 77分 ホワイトロック [1976年インスブルック冬季大会]	30 2:30pm 特別講演会「オリンピック記録映画の歴史と映画復元プロジェクト」	1★ 1 3:00pm 1912年第5回オリンピックストックホルム大会 (170分) [1912年ストックホルム大会] ライブ解説:松浪稔 *途中休憩あり
12月	2 14 1:00pm 167分 札幌オリンピック [1972年札幌冬季大会] *途中休憩あり	15 3:00pm 110分 時よとまれ、君は美しい／ミュンヘンの17日 [1972年ミュンヘン夏季大会]	18 2:30pm 149分 スポーツよ、君は平和だ！ [1980年モスクワ夏季大会]	21 3:00pm 130分 マラソン [1992年バルセロナ夏季大会]	22 12:00pm 119分 1998長野オリンピック名譽と栄光の物語 [1998年長野冬季大会]	10 11:30am 147分 ローマ・オリンピック1960 [1960年ローマ夏季大会]
	3★ 3 6:00pm 192分 アムステルダム・オリンピック大会 [1928年アムステルダム夏季大会] ライブ解説:松浪稔 *途中休憩あり	4 11 6:00pm 170分 東京オリンピック [1964年東京夏季大会] *途中休憩あり	5 19 6:30pm 145分 栄光の16日 [1984年ロサンゼルス夏季大会]	6 20 7:00pm 119分 ハンド・イン・ハンド [1988年ソウル夏季大会]	7 11 3:00pm 170分 東京オリンピック [1964年東京夏季大会] *途中休憩あり	8 2 4:00pm 124分 銀界征服 [1928年サン・モリッツ冬季大会] 伴奏:柳下美恵
9 20 3:00pm 119分 ハンド・イン・ハンド [1988年ソウル夏季大会]	9 2:00pm 106分 美と力の祭典 メルボルン・オリンピックの記録 [1956年メルボルン夏季大会]	7 3:00pm 91分 憎しみなき闘い [1948年サン・モリッツ冬季大会]	19 3:00pm 145分 栄光の16日 [1984年ロサンゼルス夏季大会]	15 11:00am 110分 時よとまれ、君は美しい／ミュンヘンの17日 [1972年ミュンヘン夏季大会]	16 1:00pm 77分 ホワイトロック [1976年インスブルック冬季大会]	
17 10 7:00pm 118分 第21回オリンピック大会 [1976年モントリオール夏季大会]	11 6:00pm 170分 1912年第5回オリンピックストックホルム大会 (170分) [1912年ストックホルム大会] 伴奏:山城秀之 伴奏:上屋安由美 *途中休憩あり	12 7:00pm 124分 銀界征服 [1928年サン・モリッツ冬季大会] 伴奏:柳下美恵	4 7:00pm 38分 世界の若者たち [1936年ガルミッシュ=バルテングルヒェン冬季大会] 1936年オリンピック映画の製作風景 (34分)	3● 14 3:00pm 192分 アムステルダム・オリンピック大会 [1928年アムステルダム夏季大会] 伴奏:佐々木亜希子 伴奏:永田雅代 *途中休憩あり	21 4:00pm 130分 マラソン [1992年バルセロナ夏季大会]	
16 13 2:30pm 160分 太陽のオリンピアーメキシコ 1968— [1968年メキシコシティ夏季大会] *途中休憩あり	17 3:00pm 118分 第21回オリンピック大会 [1976年モントリオール夏季大会]	22 3:00pm 119分 1998長野オリンピック 名譽と栄光の物語 [1998年長野冬季大会]	23 3:00pm 計112分 東京オリンピック 短篇ドキュメンタリー選集 (計112分)	5 1:00pm 126分 民族の祭典 [1936年ベルリン夏季大会1]	11 11:00am 170分 東京オリンピック (170分) [1964年東京夏季大会] *途中休憩あり	
	8 6:30pm 138分 ロンドン・オリンピック [1948年サン・モリッツ冬季大会] [1948年ロンドン夏季大会]	23 6:30pm 計112分 東京オリンピック 短篇ドキュメンタリー選集 (計112分)	12 7:00pm 112分 白い恋人たち／グルノーブルの13日 (112分) [1968年グルノーブル冬季大会]	18 6:30pm 149分 スポーツよ、君は平和だ！ [1980年モスクワ夏季大会]	6 4:00pm 103分 美の祭典 [1936年ベルリン夏季大会2]	14 3:00pm 167分 札幌オリンピック (167分) [1972年札幌冬季大会] *途中休憩あり

■作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。★ライブ解説付上映 ●弁士・伴奏付上映 ♪音楽伴奏付上映

前売券の購入方法

[Pコード:550-604]

チケットぴあ店舗、セブン-イレブンで購入

▶11月12日(火)10:00より各プログラムの前日まで
⇒前売料金に加え、1枚につき発券手数料110円がかかります。

受付電話(0570-02-9999)で購入

▶11月12日(火)10:00より各プログラムの4日前23:59まで購入可能
⇒前売料金に加え、1枚につき発券手数料110円がかかります。
* 毎週火・水2:30～5:30はシステムメンテナンスのため受付休止となります。

チケットぴあのサイト
(<https://w.pia.jp/t/nfaj-olympic/>)で購入

▶購入時期によってご利用可能な決済方法が異なります。
⇒前売料金に加え、1枚につき発券手数料110円、また決済方法によって1件につき決済手数料がかかる場合があります。
* 本前売券購入に、システム利用料はかかりません。
* 手数料等の詳細については、上記チケットぴあのウェブサイトをご覧ください。

前売券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。

2階受付では、「NFAJニュースレター」(季刊)を販売しています。これは、国立映画アーカイブのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルムアーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



国立映画アーカイブは、国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口9より徒歩7分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ:ハローダイヤル03-5777-8600
ホームページ: www.nfaj.go.jp

Twitter: @NFAJ_PR Facebook: NFAJPR
Instagram: nationalfilmarchiveofjapan